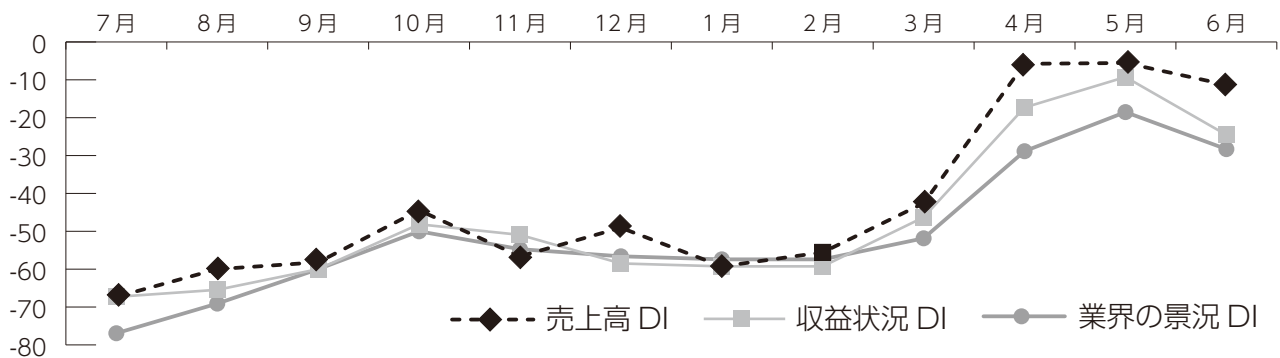


## まん延防止等重点措置が解除されるも業況低迷 多くの業種で仕入価格が上昇し、収益を圧迫

### 概況

まん延防止等重点措置が解除されるも、人出は戻らず非製造業を中心に需要の低迷が続く。また、多くの業種で仕入価格が上昇しており、十分な価格転嫁ができず収益を圧迫した。特に金属や木材などの原材料価格が高騰しており、先行き不透明感が増す。

### 主要DIの推移（全体）



### 景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☀	☁	☁
製造業	食料品	☁	☁	☁	☁	☁	☀	☁	☁
	繊維製品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	窯業・土石	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀	☁
非製造業	卸売業	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☀	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	サービス業	☀	—	☁	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☀	—	☁	☁	☁	—	☁	☁

減少悪化 ← ☁ ☁ ☁ ☁ ☀ → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。  
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数 × 100

## コメント掲示板

### 《製造業》

<b>食 料 品</b>	<p><b>[パン]</b> 6月は休日が多かったことに加え、消費者の購買意欲に低下がみられ、売上は減少。学校給食は、提供回数が例年水準に戻り売上が回復した。</p> <p><b>[畜産食料品]</b> 牛のと畜頭数は増加するも、豚は落ち込み、全体での売上は減少。</p>
<b>織 維 製 品</b>	<p><b>[桐生織物]</b> 緊急事態宣言延長による店舗休業の影響で、服地、和装ともに動きが鈍い。</p> <p><b>[外衣・シャツ]</b> 小売店の業績悪化の影響で、1回当たりの受注数量が非常に少なくなっている。</p> <p><b>[インテリア関連]</b> 例年はカーテンの需要期であるが、受注が伸びず売上は減少。</p>
<b>窯業・土石</b>	<p><b>[生コンクリート]</b> 県西部では、令和元年東日本台風の復旧工事が続いているものの、その他の地域では長期的な需要の落ち込みがみられる。</p> <p><b>[碎石]</b> 吾妻地域では出水期前の施工があり好調に推移するも、他の地域では低調及び不変で推移。全体での売上は減少。</p>
<b>機 械 ・ 金 属</b>	<p><b>[自動車関連]</b> 世界的な半導体不足の影響で多くの自動車メーカーで生産調整が行われ、年内の回復は厳しいという声も聞かれる。売上はコロナ流行前水準に戻っていない。</p> <p><b>[金属加工業]</b> 原材料の鋼板が極端に不足し価格高騰が起こり、収益状況が大幅に悪化した。危機的な状況にある。</p> <p><b>[めっき業]</b> 半導体製造装置、工作機械部品、PC向けは好調に推移している。しかし、自動車関連は半導体不足の影響で受注が落ち込む。</p>
<b>そ の 他</b>	<p><b>[製材業]</b> ウッドショックの影響で原木が徐々に値上がりするも、製品価格は高値のまま横ばい状態が続く。</p> <p><b>[印刷業]</b> 前年はコロナの影響で営業活動ができず大幅な落ち込みとなった。前年対比では回復するも、コロナ流行前の水準には戻っていない。</p>

### 《非製造業》

<b>卸 売 業</b>	<p><b>[酒卸売業]</b> 飲食店の客足は多少戻りつつあるが、消費スタイルの変化により、夏場の需要期を迎える中で不安を抱いている。</p> <p><b>[再生資源卸売業]</b> 鉄屑は発生量が少なく高値寄りに推移。古紙は流通量が継続的に減少しており、輸出向けの価格が上昇しているが、国内の価格に変動はない。</p>
<b>小 売 業</b>	<p><b>[燃料小売業]</b> ワクチン接種の進展により石油需要が回復し仕入価格が上昇した。しかし、適正に販売価格へ転嫁ができず、売上は増加するも収益状況は悪化した。</p> <p><b>[中古自動車小売業]</b> 中古車オークションは成約単価の上昇がみられ、良質車取引が増えている。</p> <p><b>[生花小売業]</b> コロナの影響で仕入価格が上がっており、販売価格に転嫁することでの客離れを危惧している。</p>
<b>商 店 街</b>	<p><b>[沼田市]</b> まん延防止等重点措置が解除となるも人の流れは戻っていない。7月にはイベントを再開予定であるが、地域の一大イベントの沼田祭りが昨年に引き続き中止となった。</p> <p><b>[前橋市]</b> 人通りは戻らず。コロナの影響だけでなく、地方商店街が衰退していることにも要因があると思われる。7月には七夕祭りがあるが、人出に期待ができない。</p>
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<p><b>[四万温泉]</b> 昨年は群馬県独自の宿泊補助キャンペーンが実施されており一時的に回復に向かったが、今年は停止しているため前年比で約3割落ち込んだ。再開を期待する。</p> <p><b>[建築設計業]</b> ウッドショックの影響で輸入木材の価格は約1.5倍上昇し、材料不足のため工事を中断する現場もみられた。一方、「公共建築物等木材利用促進法」が改正され、木材の利用促進の対象が民間建築物にまで拡大されたことで、木造建築の需要の高まりが期待される。</p>
<b>建 設 業</b>	<p><b>[建設業]</b> 公共工事は減少し、民間工事の需要も停滞が続く。公共工事においては、地域ごとの事業量の格差が拡大している。</p> <p><b>[鉄骨工事業]</b> 鋼材、溶剤の価格上昇に加え、納期も長期化している。</p> <p><b>[塗装工事業]</b> 受注量が減少し、売上も1割程度減少した。公共工事の発注が始まり、7月以降の動き出しに期待する。民間工事を主とする事業者は厳しい状況が続く。</p>
<b>運 輸 業</b>	<p><b>[一般貨物運送業]</b> 燃料価格の上昇が止まらず、厳しい状況が続く。野菜や肥料の荷動きが順調で、飲料水の回復も見られるが、全体的には低調で推移している。</p> <p><b>[軽自動車運送業]</b> 食料品関係のスポット的な輸送需要が売上増加につながった。</p>

※本調査は、情報連絡員55人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。